

石内

河内

八幡

八幡東

五日市観音西

五日市観音

五月が丘

美鈴が丘

SAEKI

第49号

令和6年(2024年)
3月発行

佐伯区スポーツ推進委員協議会
会長 埴田 栄樹

五日市中央

五日市

五日市東

五日市南

楽々園

藤の木

彩が丘

湯来

スポーツ推進委員の
みなさん、
ありがとうございました!



令和5年11月1日(水)の午後、広島市立五日市東小学校の体育館に集合して、「キンボール」の準備を始めました。今回で5回目になるこの学年PTTC活動の支援も定着し、スポーツ推進委員の役割の一つになってきました。準備が整った頃、6年生の児童と保護者のみなさんが、ぞくぞくと体育館に入って来られました。ほとんどの児童が初めて体験するスポーツなので、われわれスポーツ推進委員は、準備や運営に気を配りながら進めていきました。児童のみなさんから、感想をいただきました。

地域貢献

「キンボール」を学年PTTC活動へ

楽々園学区 下江 正志

おうちの人と一緒にできて楽しかったです。
「3チームできるのでいいな。」と思いました。
「誰もいないところに打ってすごいな。」と思いました。

やる前は、「きずんと取れるかな。」と不安だったけれど、やってみるととても楽しかったです。チームで協力しながらやると不安がなくなって楽しくできました。

力だけでなく、飛ばす方向や待つ場所も大切なんだと思いました。
チームの人と協力でき楽しかったです。

協力が大事なスポーツで、すごく楽しかったです。
何回も声をかけながらしました。
みんなに聞こえるように言いました。
自分が点を入れたときは、うれしかったです。
このキンボールをお楽しみ会などでやりたいです。

「オムニキン!」と言うのが、打つながらになるので難しかったです。



全然ダメでした。ガックリ。

はっきり言って自信満々でした。なのに愕然。メロメロだったのです。
どうして自信があったのかって？

なにをかくそう、わたくしハワイ・釜山・グアム2回と計4回も実銃射撃体験があるのです。

映画の中でテロリスト御用達のAK-47、ゴルゴ13愛用のM-16を取りまわし良くしたM-4を始め、ダーティハリーやあぶない刑事のタカ&ユージ、次元大介が使っていたマグナム弾のハンドガンやショットガンまで各種実銃を撃ってきたのです。

だから反動のないビームライフルなんて楽勝パッパと思っていたのです。

おまけに射撃台の上に固定して狙えるのだから『おこちゃまでも当たるわいっ』と感じてました。

しかしいざ成績発表では、記憶がなくなるほど延々と立ち尽くしたあとに名前が呼ばれるなんて!!

きっとビームライフルの照準が狂っていたに違いないのだ。

もし湯来ロッジでのバーベキューでコッソリ人様より多めのビールを飲んでいなければ、撃ち抜かれた心の傷を癒やせぬまま、眠れぬ夜を過ごすことになってしまったであろう一日研修でした。

(ティアドロップ型サングラスして行かなくて良かったぜ。)



美鈴が丘学区 大本 勲寛



初めてのビームライフル研修

五日市学区 藤井 久美

令和5年9月24日(日)佐伯区スポーツ推進委員1日研修が、安芸太田町簡賀にある『つつがライフル射撃場』でありました。この射撃場は、アジア大会や国体が開催された場所、実弾を使わないビームライフルやゲームピストルの射撃を体験することが出来ます。ビームライフルとはどんなスポーツ?と思いながら研修日を迎えました。施設の方に射撃場内を案内していただき、競技の説明を受けました。場内にはマイライフル銃で練習されている方々が居られて、後ろ姿がカッコイイ!私達がざわざわしているにもかかわらず、静かに構えそして『バーンッ!』と的を撃ち抜くと見ている私はスカッとしました。ビームライフルの銃は、実弾を使用しないだけで、形状や重量はもちろん操作もライフル銃と同様でリアルでした。10m先に設置された標的には受光センサーが内蔵されていて、引き金を引くと光線が発



射される仕組みで、それに当たると実銃のエアライフルの発射音に似せた『バシュー!』という音とともに点数が表示されます。

中心に当たると満点の10点、中心からずれるほど点数が下がっていきます。10回撃った合計で競います。私は、ビームライフル銃をもった時の重さに驚き、練習撃ちの上げ下げで腕が疲れてしまいました。練習が終わると皆さんと順位を競う番です。皆さん顔つきが変わって真剣モード!私は老眼と乱視で標的がよく見えませんでした。なんと10回撃てました。



研修後、湯来町の湯来ロッジへ移動し、研修部の方に準備していただいたBQを楽しみながら、結果発表と表彰が行われました。

第1位 佐伯さん

第2位 坂脇さん

第3位 OBの満田さん

他にもみんなが楽しめるように賞品も用意されていきました。しかし私は残念ながら、どの賞にもあたらず!次に挑戦するときは眼鏡を替えて臨もうと思いました。

天気も良く青空の下でモルックをしたり、楽しい1日研修となりました。企画、準備していただいた研修部の皆さん、本当にありがとうございました。

清々しい秋晴れの中、初体験のビームライフル研修。構え、引き、集中力と難しく、思うような結果じゃなかったけれど楽しめました。バーベキューは親睦を深めるのには最高で、研修部共々皆さんのお世話と笑顔に感謝。すてきな時間をありがとうございました。
美鈴が丘学区 太尾田 紫織

ビームライフルの研修を体験しました。右目で見えるのか?左目で見えるのか?って思いましたが自然に構えられました。10点の最高得点が3回取れました。手は震えるし、集中力も高めないとかなかなか真ん中には当たりませんね!
五日市東学区 正木 数人

「心・技・体」を整えて戦うというシビアな競技ビームライフル体験ができるということで、内心わくわく「自称スナイパー」気分、つつがライフル射撃場に向かいました。一通り説明を聞き、いざ銃を手にかっこよく狙おうとすると…重くて腕がプルプル震えるし、目が霞んで標的が定まらない。そして及び腰。こんなはずでは…そのうちの的を捉えているのかわからないまま適当に引き金を引いてしまうという注意力散漫な有様。大げさではなく10発撃つだけで、気力・体力・集中力は限界でした。

「心・技・体」とは程遠い、明日には筋肉痛に悩まされるであろう情けない自分自身を痛感できた研修でした。

湯来ロッジでのバーベキューはお天気にも恵まれ、しっかり食べておしゃべりに花を咲かせ、のんびりと癒やされました。大自然の中で大きく深呼吸して、明日からに向けての「心・技・体」を整える準備だけはできました。

最後になりましたが、この有意義な一日研修の準備・運営等に関わってくださった方々に感謝いたします。

五日市南学区 鎌田 真由美



青空の下でのモルックは気持ちいい!



どんな成績だってみんな集まると楽しい!

まさかの1位🏆だった 五日市東学区 佐伯裕子さん

ビームライフルと聞いてどんなものか見当もつかないまま想像して光が出るライフル…?ところがライフルは机の上に固定して、目の焦点を合わせる。自分で持ち上げないから、ぶれないのでとてもいい感じに撃てた。年齢を問わず楽しめるスポーツだと思いました。

アーチェリーと同じ要領だと説明を受けましたが、実は私は昨年のアーチェリー研修では最下位でした。

最後にライフルを持たせていただきました。とても重くて持っては撃てないなと感じました。



区民まつりで広報活動だ! 佐伯区民まつり実行委員会

秋とはいえ少し肌寒くなった11月12日(日)佐伯区最大のイベントである「佐伯区民まつり」が盛大に開催されました。コロナで中止が続き3年ぶりの開催となった今年は、なんと16,000人の方が来場されたそうです。

この佐伯区民まつりに佐伯区を盛り上げるべく、そして日頃スポーツをする場面で登場することが多い私たち佐伯区スポーツ推進委員協議会のよい広報の機会になると思い、今年度より参加させていただきました。

内容は、チャレンジコーナー(ストラックアウトや豆つまみ・輪投げなど)の受付担当と物販コーナーでの参加です。スポーツ推進委員佐伯区民まつり実行委員会を6名で構成し、企画・準備をすすめました。物販コーナーの出店ではチヂミと飲料を販売しました。スポーツ推進委員協議会で出店するのは初めてでしたので、一日研修会(今年はチームライフ研修)で研修部に時間をつくっていただきチヂミ試食会も行いました。

当初「赤字だったらどうしよう」と不安だったこともどこへやら、当日はなんと行列ができるほど売れ行きは好調。お買い上げいただいたお客様に心より感謝いたします。

出店ブースの片隅に、日頃のスポーツ推進委員の活動の様子をパネルで紹介していたのですがご覧いただきましたでしょうか?いただけているとうれしいなあ。

佐伯区民まつり実行委員長

斎木 幸江



たくさん並んでいただき感謝!!

～佐伯区スポーツ推進委員協議会の紹介～

地域におけるスポーツの推進役として活動する佐伯区のスポーツ推進委員について紹介します。

【スポーツ推進委員とは】
スポーツの推進のために競技指導やスポーツに関する行事や事業の実施に協力し、住民の身近な立場から、スポーツの振興の担い手として活動しています。
現在、佐伯区では16学区で43人の委員が地域のスポーツ推進役として配置されています。

【活動の様子】

(佐伯区スポーツセンターまつり)



(ふれあい軽スポーツ交流会)



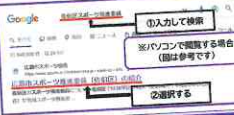
(スポーツキッズ)



(実技研修会)



活動の詳細については下部のQRコードから!



スポーツセンターの協力を得て紹介パネルも展示

佐伯区スポーツ推進委員協議会



すべては佐伯区民のために...
佐伯区スポーツ推進委員協議会



焼いた数は500枚以上!とにかく焼きまくりました!

編集後記

「打ち揚ぐるボールは高く雲に入りて又落ち来る人の手の中に」
野球好きで有名な子規が詠んだ短歌です。

先日、車で九州をぐるりと回る旅の途中でジャイアンツの宮崎キャンプに立ち寄りしました。(G党なので日南はスルーしてしまいました。カープファンの皆さまゴメンナサイ)

強い日差しの下、白球を追う選手たちを見ているとスポーツの良さを感じずにはいられませんでした。

本誌も次号で第50号の節目を迎えます。

これからも地域のスポーツ文化の発展に寄与していきたいと思います。

佐伯区スポーツ推進委員協議会
ホームページ

